

グルと導き手としての神

悠久の昔から、宗教、文化、靈的伝統を越えて、人生と呼ばれる大きな冒険において、師すなわち教導者に人を導いてほしい、という深い切望と崇敬の念が存在しています。これは聖人の生涯と聖典によって証明されています。サティヤ サイ ババは、幼少のころから靈性の師としての役を担うことを始め、身をもって手本を示すことによって、また、バンダリ バジヤン グループ(子供の聖歌隊)や、聖典の物語や当代の社会問題をベースにして改革や平等を求める劇を街頭で上演することによって、万人を善と神の道へとお導きくださいました。1940年10月、サティヤ サイ ババは自らの使命を宣言し、このユガの時代のアヴァターとしての最初のメッセージを述べられました。それは、「マーナサ バジャレー グル チャラナム ドウスタラ バヴァサーガラ タラナム」(おお、心よ！グルの御足に庇護を求めよ。グルは人生と呼ばれる大海を渡れるよう導いてくれるだろう)というものでした。

グル プールニマーは、グル(靈性の師)に献身する日として、太陰暦アーシャーダ月(7月)の満月の日(プールニマー)に祝われます。一方、バガヴァン サティヤ サイ ババ様は、グルを尊ぶこの古代よりの伝統を、すべての求道者が祝うべき重要な靈的祝祭として1956年に正式に復活なさいました。グル プールニマーは、1)グルを感謝と共に思い起こす日、2)グルの教えを熟考する日、3)グルの教えを日々実践することを決断する日、です。グル プールニマー(2016年は7月19日)に向けた、個人あるいはグループでの学びの準備として、ここにバガヴァン サティヤ サイ ババ様によるグル プールニマーの御講話からのいくつかの御言葉をご紹介します。

グル プールニマーの意味

月は心(マインド)を司る神です。今日はプールニマー(満月の日)です。「プールニマー」とは何を意味するのでしょうか？それは、始点に回帰することによって完全な円が完成されたことを意味します。半円は世間的な生活の象徴です。半円は「C」の文字に似ています。半円は科学と等しく、不完全な知識です。月によって象徴される完全な円は、愛にあふれている時の心の状態を象徴しています。今日はグル プールニマーが祝われます。「グ」は「暗黒」を意味し、「ル」は「追い払う」という意味です。「グル」は「暗黒を追い払う者」を意味します。グル プールニマーは、心の中から無知の暗黒を追い払うことを祝う日です。ですから、人々は、一切を包み込む愛の本質で心を満たすべきです。完全無欠な愛を体験するためには、ハートをすっかり愛で満たさなければなりません。それは完全な信愛の結果として起こるでしょう。

1994年7月22日

グル プールニマーの意味とは何でしょう？「グル」とは神への道を照らす人です。「プールニマー」は涼やかな満月の光の象徴です。満月は、完全な光輝を得た心の象徴です。それは一点の欠けたところもありません。心に一つでも欠けたところがあれば、それが暗黒

をもたらします。そのような心が完全な至福をもたらすことはできません。

愛の化身である皆さん！心を神の愛の輝きで満たしなさい。単なる書物の知識を手に入れるだけでは、何の役にも立ちません。皆さんが今までに勉強してきたことは、全体の知識のごく一部分にすぎません。にもかかわらず、皆さんはそれを得意に思っています。皆さんの世俗的な教養は、神の英知に比べれば取るに足りないものでしかありません。教養や力や富によっては、神に到達することはできません。神は愛によってしか接近できない存在です。神は、あなたが愛を育てたときに初めて体験できるのです。信愛（バクティ）とは、神を心の底から愛することです。

2002年7月24日

今日、大勢の皆さんがここに集まっています。なぜなら、今日はグル プールニマー（グルに献身する満月の日）だからです。完全に価値のあるグルは、人間の心の中で「私のもの」や「あなたのもの」というものが生み出す不和や分裂のない、一つであるというヴィジョンを促進しなければなりません。ヴィヤーサ仙はそのようなグルでした。今日は、人類がヴィヤーサ仙にしかるべき感謝を捧げる日として、ヴィヤーサ プールニマーとも呼ばれています。「ヴィヤーソー ナーラーヤノー ハリヒ」——ヴィヤーサ仙は、ナーラーヤナ神、つまり、ハリであり、ナーラーヤナである。これは、ヴィヤーサ仙は、ヴィヤーサと呼ばれる人間となって、ヴェーダを編纂し、人に神への道を説くためにやって来た神そのものである、ということです。ヴィヤーサ仙は神への道を、登るのに容易でなだらかなものにしてくれました。

ヴィヤーサ仙は、行為と不行為、成功と失敗、欲望と絶望という輪の中に捕えられている人間を気の毒に思いました。ヴィヤーサ仙は、人間を成就へと導く多くの実践を定めました。成就是、人の中に潜んでいる動物的な傾向を除去し、人の神髄である神性に到達することで成り立ちます。

1979年7月9日

誰がグルか？

最初のグルは母親です。母親の手本、母親のアドバイス、母親の忠告は、人に最も深く長い影響を及ぼします。二番目のグルは父親です。父親は、自らの力と知識によって子から敬われ、自ら与える罰によって子から恐れられます。次のグルは教師です。教師は子供を導き、物質的な知識の迷宮へと子供たちを案内します。けれども、内にある目を開き、直感という内にある道具を磨くことができるのは、グル（霊性の師）だけです。グルは、あなたに、「デーハム？」（私はこの体なのか、それとも、この体は自分が使っている乗り物にすぎないのか？）と自問して「ナーハム」（私はこの体ではない）という答えを発見するようにさせます。それから、自分の実体、「コーハム」（では、私は誰なのか？）を探る深い探求が始まります。そして、その答えが、「ソーハム」（私は神である）、つまり、自分はその栄光の一つの火花である、私は神である、という純粹意識を明らかにするのです。

1972年7月26日

今日はグルを礼拝するために定められた日です。誰がグルですか？ 目的地に到達していない人物が、あなたを目的地へと道案内することができますか？ 自分が暗中模索している者が、どうやってあなたの道を照らすことができるでしょう？ 導くことを公言しているグルの多くは、道をよく知らないか、自分の道の正しさを確信していないかです。「グ」は、「暗闇」すなわち「無知」を意味します。「ル」は、それを「取り除く」ことです。ですから、グルは、他の人の中から無知を取り除くプロセスを知っていなければなりません。自分の無知を取り除くことをしていない者が、どうやって他人の無知を取り除くことができるでしょう？ 盲人が盲人の道案内をすることはできません。

「グル」にはもう一つの意味もあります。「グ」は「グナーティータ」（宇宙を構成する三本の^{よりいと}燃糸であるエネルギー〔三属性〕）を意味し、「ル」は「ルーパ ラヒタ」（特定の姿を持たない者）を意味します。神だけがこれらに影響されないものである、とすることができます。ですから、神こそがグルであり、あなたのハートの中にいて、いつでも導き照らす準備ができています。そのグルは、全知、全能、遍在です。

1979年7月4日

本当のグルのしるしと特性

愛の化身たちよ！ 今日はグル プールニマーの日です。グル プールニマーの内的意味は何でしょう？ 唯一なる神より他にグルはいません。あなたが自分をただの人間だと思っている間は、あなたは自分を弟子と見なしてもかまいませんが、あなたが自分はアトマの化身だということに気づいた時、あなたがあなたのグルになります。人々は、グルや教師の後を追いかけて、自分を思い違いして、ブラフマンを忘れています。自分自身に庇護を求めなさい。あなたの実体を認識しなさい。それこそが正しい道です。そして、それこそがグルを明らかにするための方法です。

1991年7月26日

エゴも私心も持っておらず、弟子を自分と同じレベルにまで引き上げることができる者が、真のグルです。壊色^{えじき}のローブをまとい、いくつかのマントラを唱え、いくらかの聖句を解説することが、最近のグルのしるしですが、本当のグルのしるしは、大きな心を持ち、まったくの無私であり、清らかな生活をし、何かを得ようという欲がなく、妬みがなく、誰に対しても同じ振る舞いをする平等観を持っていることです。妬みがないことは、グルにも弟子にも不可欠な資格です。なぜなら、妬みは多くの悪の根源だからです。

グルの役目は、神へと向かう道の上で弟子を導くことです。グルは弟子に、目や舌や体の各所で諸々の感覚器官を使うことの真の目的を教えなければなりません。五感はすべて、神を発見し、体験するために使われるべきものです。

1984年7月13日 サイラムニュース 169号

グル プールニマーという名のもとに、あなた方は誰かのためにプージャー〔供養礼拝〕をして人生を無駄にしています。一人のグルがいるだけです。それは神です。そのグルはあなたの中にいます。あなた方はそのグルを世界の中で探しています。あなた方のグルは、あなたの中に、ブラフマー、ヴィシュヌ、マヘーシュワラ（三位一体の神）の姿で存在し

ています。そのグルには、あなたを守ること、あなたを高めること、あなたを滅ぼすことができます。あなたが正しく行動し、正しい道を歩んでいる時、三神は自らの神の力（ヴィシュヌットワ）であなたを守護するでしょう。

罪や神は別個の存在ではありません。自分たちの行為と思考が、場合に応じて罪や功德という形をまとうのです。幸せの王道、悲しみを取り除く王道は、奮闘すること〔正しい行い〕です。すべての宗教、すべての教え、すべての霊的な道の神髄は、ただ一つ、愛です。神の愛を持つようになりなさい。何にもまして、あなたの困難がどのようなものであっても、あなたが通らなければならない試練がどれほどのものであっても、どんな状況にあっても、神を手放してはなりません。神は一なるものです。

1988年7月29日

このグル プールニマーの日、私は皆さんに特定の神の御名のアシュタークシャリー（八文字）のマントラも、パンチャークシャリー（五文字）のマントラも授けるつもりはありません。また、ウパニシャッドやギターやブラフマストラを学ぶよう命じるつもりもありません。簡単な五文字の声明があります。それは、「神がいる」（デーヴドゥンナードゥという五文字のテルグ語、デーヴドゥは神の意）です。これをあなたの頼みの綱としなさい。これを繰り返し唱え、これについてじっくり考え、これを実行し、これを他の人々に伝え、この体験の至福に浸るなら、皆さんは世界の幸福に最大の貢献をしていることになるでしょう。

（スワミはここで「神がいる」が真実であることを示すために、神の創造の栄光に関する一編の詩を吟唱なさいました。）

この真言を今日のグル プールニマーのメッセージと考えて、どのような状況下にあろうとも、どこにいようとも、あらん限りの信心と力を込めて言いなさい。神への信仰を強め、それを行動においてはっきりと示すなら、あなたはこの世を地上の楽園に変えることができます。どんな問題や困難にも立ち向かう勇氣と決意を持たなくてはなりません。この真言を広めることにより、人々の間に神への愛と罪への恐れを促すことができます。

「神がいる」という真言は、他の特定の神の御名に基づくマントラよりも強力なものとなり得ます。加えて、どんなマントラも単に繰り返すだけでは役に立ちません。マントラやヤントラ（チャントラ）の力より偉大なものは、純粋なハート（チッタシュッディ）の力です。あなたの信仰は、神の御座であるハートから生じなければなりません。

1986年7月21日 サイラムニュース 132号